

しらゆり

地域とともに歩むしらゆり会 [広報誌]

Shirayuri
第 33号
2017
August





しらゆり

2017 August

2 理事長挨拶

しらゆり第33号発刊に寄せて

3 法人基本方針

平成29年度運営方針

しらゆり会役員等名簿

4 創立51周年記念式典

(永年勤続者表彰・新規採用職員)

5 平成28年度寄付・寄贈

新施設長就任のご挨拶

苦情処理状況

6 平成28年度決算報告

平成28年度施設整備事業

7 施設の活動報告

救護施設 泉の園

障がい者支援施設 希望の園

相談支援事業所 ねくすと

共同生活援助事業 互助の館

就労継続支援A型事業 ワークセンター島根

障がい者支援施設 光洋の里

生活介護事業 さざなみ

軽費老人ホーム ケアハウス 夢楽の郷

特別養護老人ホーム 詔光の里

特別養護老人ホーム いやしの館

老人デイサービス事業 きらめき

老人・障がい者ホームヘルプサービス事業 ねぎらい

訪問看護ステーション 暖心

居宅介護支援事業所 ナイス

児童福祉施設 しらゆり保育園

児童福祉施設 しらゆり第2保育園

児童福祉施設 しらゆり第3保育園

児童福祉施設 しらゆり千鳥保育園

23 視察研修旅行記



しらゆり第33号 発刊に寄せて

社会福祉法人しらゆり会

理事長 国頭 正治

今年は梅雨入りしても雨に恵まれず、早くから暑い日が続いており、急な暑さにお体に変調はありませんでしたでしょうか。

2017年4月より改正社会福祉法が施行されました。定款の変更、理事・評議員の在り方等、改正内容の詳細発表が遅れ、前年度に時間のない中全国の社会福祉法人が準備のため苦労されたと思います。新年度を迎えても決算等の財務諸表の在り方も変わり、6月まで担当された方も、これで間違いがないか確認作業に追われたことと思います。その後がどのように進めていくかの本番です。福祉会に携わるもの同士見える形で取り組みましょう。

さて、いよいよ来年の4月報酬改定に向け審議が始まっております。社会保障費の予算に於いて自然増分をどこで削られるのか、また、国民の費用負担増がどの程度なのかの議論の中で、とりわけ介護分野、保育分

野で問題の提起が行われています。しかし、福祉は様々な人が対象であり、その内容も多岐に及んでおります。一部分のクローズアップの影に隠れてしまいがちな事案にも、光を当て議論していただきたいものです。

日本の労働人口の減少の中で、どのように職場の在り方を変えていくのか、働く現場の改革に企業も苦境の連続です。福祉業界も同じ苦境の中で、働きやすい、そして、やりがいを感じられる職場のイメージを送信し、受け手に届けることができるのか。IOT環境と福祉の現場においていかに結び付けることができるのか。時代の流れの中で、何を見つけたのか。福祉を必要とする方達に届けられるのか、自問自答を繰り返しながら課題に取り組んでまいりたいと考えております。

今後とも地域と共に歩むしらゆり会にご支援賜りますようお願い申し上げます。

法人の基本方針

社会福祉法人しらゆり会は、利用者の皆様へ、そして地域福祉充実のため次の五つの目標を掲げ、しらゆり会の施設やサービスを利用して良かったと言っていただけのように、役職員一丸となって利用者の皆様へのサービス提供に努めます。

一・人権の尊重

(利用者の基本的人権の尊重)

二・良質なサービスの提供

(安全・安心・快適なサービスの提供)

三・信頼性の確保

(苦情の申し出に対する親切的な対応)

四・地域福祉への貢献

(地域の皆様へ社会福祉事業への理解促進及び知識普及)

五・法令遵守

(法令の遵守による適切な運営と透明性の確保)

平成29年度

法人の運営方針

社会福祉法人しらゆり会は、社会福祉事業の主たる担い手として、事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めてまいります。

重点目標

一・社会福祉法人制度改革後の対応

四月に改正施行された社会福祉法に基づき、今後の動向を注視しながら情報収集に努め、経営組織のガバナンス強化や公益活動の在り方等について検討しながら、地域社会に貢献する法人として取り組みを推進していく。

二・経営の安定化

福祉業界では、ここ数年で数多くの民間サービスが算入しており、競争が激化している。法人内においても定員割れが生じている事業所があり、利用者確保は喫緊の課題となっている。本部としても現場の意識改革やサービスの質向上等について適切な支援を行い、収益の安定確保に努める。

三・福祉人材確保

高齢化社会の進行などにより、福祉サービスのニーズの増大、高度化、複雑化がいつそう進んでいるが、一方で若年労働者の減少が進み、人材難の状況は続いている。当法人においても、社会福祉従事者を相当数確保していくことが必要であり、地域の理解を求めていくとともに、労働条件の改善等による魅力ある職場作りを進める等、積極的に取り組んでいく。

しらゆり会役員名簿

しらゆり会役員名簿

(任期/平成29年6月23日～平成31年定時評議員会まで)

職	氏名	現在の職業及び公職
理事	国頭 正治	理事長
		泉の園・ワークセンター島根施設長
	国頭 正久	統括事務局事務局長
		詔光の里施設長
	比良 幸男	松江市議会議員
	小林 良二	社会保険労務士
	須谷 留	(元松江市民生児童委員協議会事務局長)
	森 晴美	(元本会施設長)
錦織 暁	(元栄徳商事(株)常務取締役)	
監事	廣瀬 芳徳	(元栄徳商事(株)代表取締役)
	柳原 知朗	(元松江市職員)

しらゆり会評議員名簿

(任期/平成29年4月1日～平成33年定時評議員会まで)

職	氏名	現在の職業及び公職
評議員	三島 進	松江市議会委員、(有)三島運輸役員
	瀬崎 淳一	(有)ベリーショップ専務取締役
	山本 寿子	松徳学院高校非常勤講師
	上田 恭己	松江栄養調理製菓専門学校校長
	石田 正美	希望の園保護者会会長
	花田 範久	山陰中央新報社論説委員
	中島 修	(元社会福祉事業団職員)
	金築 宏	島根銀行本店営業部長
	竹田 純子	(元本会施設長)



社会福祉法人しらゆり会 創立51周年記念式典



理事長あいさつ

本会創立51周年記念式典が、平成29年4月14日サンラポーむらくもで開催されました。

当日は、理事、監事を含む役員・職員約100名が集い、永年勤続表彰、新規採用職員紹介等が行われました。また記念講演においては、昨年に引き続き、島根県人権啓発推進センターの啓発指導講師である藤原博詩氏をお招きしました。「思い込み」や「決めつけ」による人権侵害についての講演は、普段の何気ない行動や言動を思い直すためのとても良い機会となりました。



永年勤続者表彰

今年度は勤続20年の表彰者は7名、10年の表彰者は2名となりました。勤続20年を迎えると海外、10年を迎えると国内への職員特別研修視察に行くことが出来ます。

■永年勤続表彰者

年数	施設名	職名	氏名	採用年月日
20年	暖心	所長	勝部 瞳	平成9年4月1日
	光洋の里	主任	佐田 美枝	平成6年4月1日
	しらゆり第2保育園	主任	野津 美和	平成8年4月1日
	統括事務局	主任	奥名加奈子	平成9年4月1日
	ワークセンター島根	事務員	中田 由紀	平成8年4月1日
	いやしの館	調理員	角浦美和子	平成6年6月1日
	しらゆり保育園	保育士	加藤美奈子	平成9年4月1日
10年	しらゆり千鳥保育園	保育士	生田 佳永	平成19年4月1日
	統括事務局	主事	吉岡 春菜	平成18年4月1日



永年勤続(20年)



永年勤続(10年)

新規採用職員



施設名	職名	氏名	採用年月日
しらゆり第3保育園	施設長	井田 佳彦	平成 29 年 4 月 1 日
ねくすと	相談支援専門員	菊田美恵子	//
	支援員	長谷川 晃	//
	支援員	永瀬 正孝	//
光洋の里	支援員	高梨 敦	//
	支援員	高梨 敦	//
さざなみ	看護師	藤田 直美	平成 28 年 6 月 1 日
夢楽の郷	介護職員	福田 美穂	平成 29 年 4 月 1 日
	調理員	藤原伸太郎	//
詔光の里	介護職員	西村 鷹志	//
いやしの館	介護職員	平塚 純子	//
	看護師	門脇くるみ	平成 28 年 6 月 1 日
	調理員	小林 ゆい	平成 29 年 4 月 1 日
しらゆり保育園	保育士	山田 彩華	//
	保育士	齋藤 有里	//
	調理員	朝山 優香	//
しらゆり第2保育園	保育士	岩田 聖那	//
しらゆり千鳥保育園	保育士	鈴木 章子	//
	保育士	山崎 和美	//
	調理員	多々納 茜	//
暖心	看護師	伊野奈美枝	//
	機能訓練士	砂流登志子	平成 28 年 5 月 1 日

平成28年度
寄付・寄贈

平成28年度も多くの方々から善意の御寄付をいただきました。

寄付者	施設	寄付物品
上野 隆雄	光洋の里	寄附物品
境港歌吉愛好会	光洋の里	寄附金
物部 宏太郎	夢楽の郷	寄附金
しらゆり第2保育園保護者会	しらゆり第2保育園	寄附物品
しらゆり保育園保護者会	しらゆり保育園	寄附物品
しらゆり第3保育園保護者会	しらゆり第3保育園	寄附物品
しらゆり千鳥保育園保護者会	しらゆり千鳥保育園	寄附物品

(掲載対象期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日)

新施設長
就任のご挨拶



障がい者支援施設
光洋の里
施設長
清水 美和子

この4月、3月末をもって勇退されました宮廻前施設長の後を引き継ぎ、障害者支援施設「光洋の里」の施設長に就任させて頂きました清水と申します。昭和61年6月の開所当初より、長く「光洋の里」に勤務させて頂いたという事で、このような大役をお引き受けすることとなりました。自らの未熟さと、その重責に押しつぶされそうな不安な毎日ですが、信頼できる心強いスタッフと、ご利用者様の温かい励ましのお言葉に支えられ、日々を乗り越えているところであります。

これからも地域や親族の皆様を支えられ、ご利用者様が、安心してイキイキと暮らしていける施設、職員がワクワクと仕事ができる施設として、この『イキイキ・ワクワク』を目標に掲げて頑張つていく所存です。今後とも、ご指導、ご協力のほどよろしくお願ひ致します。



軽費老人ホーム
ケアハウス 夢楽の郷
施設長
常松 由美子

4月から夢楽の郷で勤務しております常松です。平成21年10月に「詔光の里」のサテライト施設として開設した地域密着型小規模特別養護老人ホーム「いやしの館」の現場統括を8年間させて頂き、日々「ユニッツケア」と向き合っていました。

現在の軽費老人ホームケアハウスは多機能で柔軟な生活支援の体制が整っており、地域包括ケア或いは、低所得者層や障がいのある高齢者の方への受け皿的施設としての役割も期待されております。夢楽の郷も、住み慣れた地域（環境）で自分らしい暮らしが継続出来る場所として役割が果たせるように、行政や医療福祉サービスと連携を密にし、努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。



しらゆり第3保育園
施設長
井田 佳彦

この4月、しらゆり第3保育園に施設長として赴任しました。今ま

で、長い小学校勤務の中で、4年間幼稚園との兼務は経験したことがありますが、保育園勤務は全く初めてです。戸惑いながらのスタートでしたが、少しずつ慣れてきたように思います。

保育園では、約10年ぶりに保育指針が改正されました。それは、共働きや核家族が増えてきたことに併せ、社会が保育園の役割として、教育に関する期待が高まってきたことも一つの要因だと思えます。

では、今期待されている保育園での教育とは一体何か。それを職員と共に見直しながら、そして、児童にとつて楽しい保育園であり、保護者の信頼に充分応える保育園を職員と共に目指し、努めていきたいと考えています。よろしくお願ひします。

苦情の状況 (平成28年度)

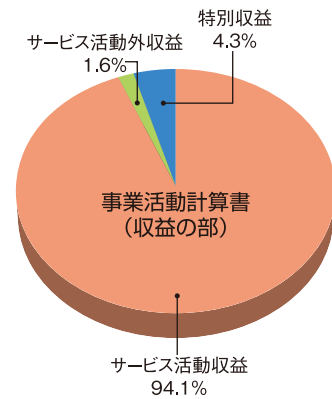
苦情受付総数29件のうち、10件がサービス提供に関する苦情でした。具体的には、書類提供が遅いことに対する苦情、親族に対する説明が不足している部分がある等の内容でした。また、職員に対する苦情が9件、設備に関する苦情が2件、利用者間でのトラブルに関する苦情が4件、その他が4件でした。

これらのお申し出頂いた苦情に対し、職員間での協議を重ね、ご本人様やご親族の皆様への説明を丁寧に行うことにより解決して参りました。今後もお申し出頂いた苦情を真摯に受け止め、より良いサービスの提供が出来るよう精進して参ります。

平成28年度決算状況 (社会福祉法人しらゆり会)

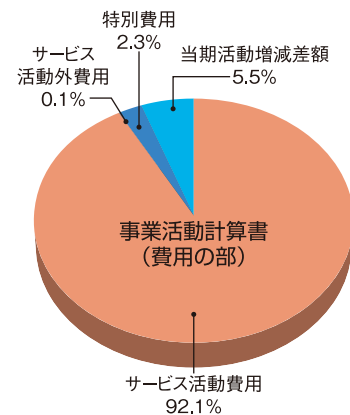
法人単位 貸借対照表 (平成29年3月31日現在) (単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	944,944,605	流動負債	262,627,625
固定資産	5,624,549,325	固定負債	422,586,684
		基本 金	941,339,123
		国庫補助金等特別積立金	1,510,786,712
		その他の積立金	882,371,703
		次期繰越活動増減差額	2,549,782,083
資産合計	6,569,493,930	負債・純資産合計	6,569,493,930



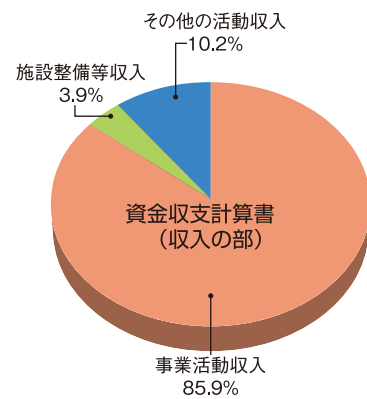
法人単位 事業活動計算書 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日) (単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
サービス活動費用	2,264,388,194	サービス活動収益	2,315,888,061
サービス活動外費用	3,012,006	サービス活動外収益	38,904,661
特別費用	56,781,625	特別収益	105,343,795
当期活動増減差額	135,954,692		
合 計	2,460,136,517	合 計	2,460,136,517



法人単位 資金収支計算書 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日) (単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
事業活動支出	2,142,128,951	事業活動収入	2,355,396,560
施設整備等支出	458,667,814	施設整備等収入	106,095,416
その他の活動支出	160,447,798	その他の活動収入	279,820,704
当期資金収支差額	△ 19,931,883		
合 計	2,741,312,680	合 計	2,741,312,680



(注)しらゆり会では監事による監査のほか、外部監査を公認会計士山川博司氏に委嘱し透明性の確保に努めています。

平成28年度 施設整備事業

1. 修繕関係

- しらゆり保育園旧園舎解体撤去 (本部)
- 倉庫外装改修工事 (本部・希望の園)
- 本館外壁改修工事 (夢楽の郷)
- 二酸化炭素削減ポテンシャル診断委託費(詔光の里)
- 園児ロッカー増設工事 (しらゆり保育園)
- 駐車場舗装工事 (しらゆり第2保育園)
- 門扉改修工事 (しらゆり第3保育園)
- 園児トイレ増設工事 (しらゆり千鳥保育園)
- 手洗い場増設工事 (しらゆり千鳥保育園)
- 園児送迎用駐車場整備工事(しらゆり千鳥保育園)

2. 備品関係

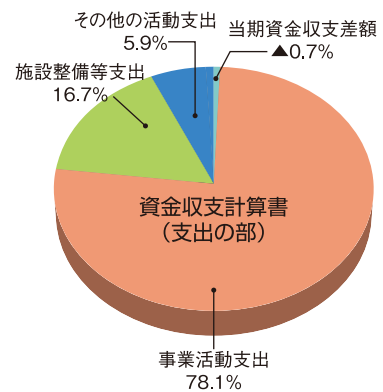
- 多床室間仕切りカーテン(新設) (詔光の里)
- 昇降式介護浴槽(更新) (詔光の里)
- 布団乾燥機(更新) (希望の園)
- 布団洗濯機(更新) (希望の園)
- 防犯センサー設置(更新) (希望の園)

3. 基本財産取得

- 職員駐車場土地 (光洋の里)

4. その他の固定資産取得

- 移転予定先土地 (泉の園)



…こんなことを行いました！…

施設の活動報告

社会福祉法人しらゆり会では様々な取り組みを行っています。
今回も、各施設からの声をお届けします。

救護施設 泉の園

心に笑顔を

松江フォーゲルパークに遠足

平成29年5月26日(金)遠足がありました。利用者の方の高齢化などで遠方に行ける方が少なくなったため松江市近郊のフォーゲルパークを中心に行きました。元気な方はその前にお茶屋の抹茶工場を見学しました。工場に入室するとお茶の香りに癒されました。お茶の歴史、松江でお茶が盛んになった背景、お茶の作り方などが説明され大変勉強になりました。見学後には、たてられたばかりの抹茶とお菓子を頂きしばしの間抹茶の歴史に思いを寄せほっとする時間を過ごしました。

フォーゲルパークでは、鮮やかな色の花々に迎えられ華やかな気持ちになり、そのまま食事会場へ。食べる事も楽しみの一つであるので皆さん思い思い想像して会場まで歩



すてきな衣装だね

きました。食事は、出雲名物のそば定食で、腰の強いそばで食べ応えがあり皆満足していました。食事の後、各班に分かれて園内を散策しました。展望台では、宍道湖を一望出来歓声を上げる方もいました。遠方はかすんでおり残念ながら大山は見る事が出来ませんでしたが大パノラマを見る事が出来てとても満足していました。

鳥のハウスでは、花々よりも綺麗にあでやかな色の美しい鳥たちに目を奪われしばし佇み見入っていました。隼の前では飼育員さんより急降下で狩をする時は時速200キロになると説明を受けると「おー」と声を出し「200キロと言えば新幹線と同じ速さだがあ」と驚いていました。また、足の掴む力が強く、りんご一個をま

るまるつぶしてしまうと説明を受け、また「おー」と声を出し驚いていました。実際に鳥を見て説明を受ける事が無いので大変勉強になったと喜んでいました。



はいチーズ

今日は、緑豊かな森林の中を散策して鳥、花などに直接触れ合う事が出来、心をなごませてくれた遠足であったと思います。利用者の皆様が毎日笑顔で過ごして頂けるようこれからも寄り添う支援を心がけたいと思います。



花より綺麗に写りましょう!

地域社会との連携を深める

希望の園では、地域の根ざした施設であるために、利用者・職員が地域の一員であることを自覚し、絆を強くするために色々な交流を積極的に進めています。

① 地域行事へ積極的に参加する。

- ・ ナイスハートふれあいスポーツ大会
- ・ 泉の園・しらゆり第3保育園・矢田合同夏祭り
- ・ 泉の園福祉展
- ・ 光洋の里まつり
- ・ 大庭夏まつり
- ・ すこやかしらゆり祭り
- ・ 乃木キッズコーラスコンサート

② 施設で行う行事へ地域の方々に参加を呼び掛ける

- ・ 希望の園まつり
- ・ 納涼地域交流会

③ ボランティア、現場実習を積極的に受け入れる。

等々の交流を行ってきました。今回、誌面をお借りし納

涼地域交流会の様子を紹介します。

納涼地域交流会にて 古志原ドリーム会様へ

松江市内で活動されている古志原ドリーム会様は、保育園児から60代までの踊り好きの方々が「南中ソーラン」を



守り唄（国宝松江城の唄）

中心に踊っておられ、様々なイベントでご活躍されています。この度、当施設の納涼地域交流会にお招きし、ソーラン節等を披露して頂きました。

多目的室のステージで踊って頂き、全員が素晴らしい踊りに感動致しました。また、ドリーム会の皆様と一緒にソールラン節を踊ったり、椅子に座っても出来る踊りも教わる事が出来ました。踊りに参加している方、見学をしている方全員で会場が一



みんなで「南中ソーラン」を踊りました

体となり大変盛り上がりを見せ、本当に楽しい時間を過ごせました。利用者さんからも「すごく楽しかった。次はいつなの?」「また来てほしい、一緒に踊りたい」との声が多数聞かれました。

古志原ドリーム会様からも「皆さんと一緒に踊って盛り上げて下さり、とても楽しかったです。機会がありましたら、また一緒に踊りましょう」とありがたいお言葉も頂きました。



椅子でも出来る「南中ソーラン」を教わりました

「みずすまし」の如く

「障がいの種類、及び障がいを持つ方」は多岐にわたる。その為、相談内容は多岐にわたる。それに関わる相談支援専門員の役割はとてつもなく多岐にわたる。よって昨今叫ばれ続けられるようになった「相談支援専門員の質の向上」とは一体何ぞや？と特に最近になって常々考える。

1人の人間がやれることと、いったらたかが知れているのに：縁あって「ねくすと」が相談の依頼を引き受けた以上、今よりも、幸せと感じられる日々を送って頂きたいと切に願うわけだが、最初から上手く事が運ぶことなんてまず無い。緊急事態だろうがなかなうが、必ず壁がある。あつちこつちの厚い壁にぶち当たる度に、心の中で己の知識力や力の弱さを思い知らされ、「相

談支援専門員の質」という言葉が呪文のように頭をよぎりはじめる。

そんな中「松江サポートステーション絆」で毎月開催されている「アクセスメント力向上事例検討会」は、多数ある研修会の中でとても有意義な内容だと感じている。日頃関わっているケースの中で、複雑・支援困難な事例を提供し、参加している相談支援専門員や介護支援専門員が、いろいろな意見を述べ合う。最後に講師のスーパーバイザーにまとめていただくが、自身の固定

観念が見事に取り払われたり、専門的な知識が新たに習得できたりする。

こういう技法はあらゆる福祉の現場でも是非とも取り入れるべきではないか？と思ったりもする。

「相談支援専門員の質」は、時間を要するかもしれないが、そのような日々の積み重ねなしでの向上はあり得ないのではないだろうか。



♪「みずすまし」

一滴の水銀のような みずすまし
 やや重く 水の面(おもて)を くぼませて
 浮いている 泳いでいる
 そして時折 水にもぐる
 あれは暗示的なこと
 浮くだけでなくもぐること

わたしたちは
 日常という名の 水の面(おもて)に生きている
 浮いている だが もぐらない
 もぐれない —— 日常は分厚い

水にもぐったみずすまし
 その深さは わずかでも
 水の阻み(はばみ)に出会う筈
 身体を締め付け 押し返す
 水の力に出会う筈
 (後略)

混声合唱組曲「心の四季」の中の
 「みずすまし」より引用

◆この「みずすまし」は、私が若かりし学生の頃、歌ったことがある合唱曲です。当時は、なんだか奇妙な歌詞の歌だなあ、としか思えなかったのですが、相談支援専門員として働くようになって、不思議と思い出し、口ずさんでいます。なんて奥深い意味のある歌詞なんだ、と感じながら…。

ボウリング大会でがんばりました。みんな仲良しです

五月二十七日、松江市で島根県障がい者スポーツ大会のボウリング競技会があり、互助の館からは十四人の利用者さんが参加され、とても良い成績を収めることができました。

普段は中々顔を合わせる事がない人達もこの日ばかりは声援を送り、ナイスボールが出ればハイタッチをする姿も



僕は二位、今度頑張るぞ!

私、優勝しました!

みんなでがんばりました

あり笑顔もありで、大会と言う事を忘れてしまうほど楽しい時間を過ごすことができました。これをきっかけに親睦を深めることができ、声を掛け合う姿も見られる様になりました。

〈成績〉	
● 団体	男子三位 四名
● 青年	女子一位 一名
● 青年	男子二位 一名



団体三位とりました

今、互助の館では二十才〜七十才までの利用者さんが生活しておられます。趣味で花を育てている方、休日にお菓子作りをする方、一日自室に居る方、いろいろな方が居られます。

互助は外出が自由にできるため、休日はいろいろな所へ外出され余暇を満喫しておられます。自立が目的と言う部分もあり職員と一緒に出かけるとは少ないですが、少ないからこそ地域の行事などには一緒に参加して頑張っています。



きれいに育ちました

ワークセンターの働く車

しらゆり会の各施設には複数の車両が用途に応じてあると思いますが、今回はワークセンターが生産を行う上で必要不可欠な5台の車両を紹介합니다。

【車両1】

使用目的は、製品のトラックへの積み込みや資材の積み下ろし、移動になります。駆



昨年4月に購入したフォークリフト



フォークリフト運転席



フォークリフトフロントパネル



フォークリフトバッテリー

そして次の写真が電動フォークリフトの命バッテリーです。24個付いています。お値段約100万円です。

動輪左右別々にモーターがあり、以前のものより滑りやすい路面でも安定した走行が出来ます。また、この車両からフロントカバーをオプションで付けたので雨の日でも運転者が濡れることが少なくなりました。

【車両2】

平成18年4月から使用しているフォークリフトです。11年を過ぎましたがまだまだ活躍しています。



フォークリフト

【車両3】

主に倉庫と2階の現場で使用しているリーチリフトです。小回りが利くのが特徴です。



リーチリフト

【車両4】

作業現場で利用しているローリフトです。作業台に乗せた荷物を運ぶ車両です。免許は必要ありません。



ローリフト

【車両5】

ワークセンターに1台しかない公用車です。10年過ぎていますがまだ現役です。以上の5台の車両を大切に使いながら、生産活動に取り組んでいます。



公用車

鳥取県ふうせんバレーボール大会

悲願の一勝！

平成25年より鳥取県ふうせんバレーボール大会が開催され、光洋の里は昨年3回目の出場をしました。

過去2回、一度も勝てなかった大会で、昨年悲願の一

勝を勝ち取る事が出来ました。そこには新規加入のエアータツカーの活躍もさることながら、優秀選手賞を光洋の里チームから選んでいたなど、応援して下さいる大会関係者の皆さんの温かい励ましがあつたからです。

また、第一回大会では、身障者用トイレが大変困りましたが、昨年は増設され不自由なく大会を楽しみました。ひとえに大会関係者の皆さんの努力の賜物ではないでしょうか。

今年はメンバーを一部変更し、チーム一丸となつてさらなる勝利を目指したいと思っています。

風船バレーとは…

ボールが自コートに入って、6人全員が打ち10回以内に相手コートに返す。
10回以内に1人2回まで打つこともできるが、連続は反則。
進行ボールは片手で打ち、もう片方の手は他の選手のサポート、自守に使うよう心掛ける。
年齢を問わず誰でも一緒に参加でき、参加者すべてがふうせんに触れてからでないと相手コートへ返してはいけないため、参加者のうちで自然とコミュニケーションが取れ、楽しむ事ができる。



開会式



まず一勝！



頑張りました

思いに寄り添える看護

さざなみに勤務して一年になります。

障害者施設での勤務は初めてで、入社当初は不安しかありませんでしたが、施設のスタッフや利用者様の笑顔に励まされ、一年があつという間に過ぎました。今でも不安はありますが、仕事に対してやり甲斐を感じ、利用者様と一



定期的なつめ切り実施

緒の時間がとても楽しく過ぎていきます。

この施設は、身体・精神的に知的に障害のある方々が利用になられ、スタッフの送迎で来所され、夕方の送りの時間まで、入浴や昼食、楽しいレクリエーションや創作活動に参加され過ごされます。その間、利用者様が安全に快適に



手作りケーキでクリスマス会

過ごせるよう、一人ひとりの障害の特性を理解し、その都度必要な処置、看護をする事が私の役割だと思っております。

そのため利用者様のバイタルチェック、薬の管理、緊急時対応、見守りなど行います。

全ての看護業務において、利用者様と向き合う時には、笑顔と相手の気持ちをお忘れなように心掛けています。また色々な思いや訴えがあつて



みんなと一緒にマッサージ体操

も言葉にして相手に伝えることが出来ない方もおられます。「痛い」「しんどい」「したい」「いきいたい」など、思っておられる事が一つでも多く感じ取れるよう、五感をフル回転してしっかりと観察し、その時の視線の高さを一緒にする事で相手に威圧感や緊張感を与えず、そして笑顔で触れ合うことで、会話の出来る方は、些細な事でも相談して下さったり、言葉に出来ない方は、視線でやりたいた事を伝えて下さったりと身振り手振りで教えていただけます。使える機能を生かし、懸命に語りかけて下さる方の訴えや考えに少しでも寄り添える、そして思いやりと声掛けが出来る看護師でいたいと思います。

ご家族や各事業所と連携をとり、利用者様にとってより良い支援・看護が出来るよう、これからもスタッフと共に頑張ります。

看護師 藤田直美

年四回のお楽しみ 喫茶会

夢楽の郷では、春の喫茶会（五月）、秋の喫茶会（九月）、雪見喫茶会（一月）、ひなまつり喫茶会（三月）と年四回の喫茶会を行っています。

調理員が担当する行事の一つです。メニューの作成は、入居の方に より喜んでいただけるようにと季節感、色どり、食べやすさなどを考えて決定します。メニューが決ま

ると、今度は必要な場合に試作をします。どんな食材を入れるとおいしく出来上がるのか、材料や分量について担当者同士が意見交換し試行錯誤しながら、仕上げに向けて一生懸命に取り組みます。

こうやって作り上げたメニューを、喫茶会で入居の方に味わっていただけること、また入居の方同士がにこやかに会話をしながら穏

かな時間を過ごしていただける姿を見られることは、私たち調理員にとってもすごく嬉しいことです。

さて、今年度は五月中旬に、「春の喫茶会」を行いました。今回のメニューは、あんみつ（手作り）・とうふドーナツ（手作り）・抹茶の和菓子・コーヒーマル（手作り）でした。



あんみつ完成!!

五月ということでも、過ぎしやすい日々の中にも少しずつ暑い日が増えてくるので「初夏」涼しげな感じ」というキーワードをもとにメニューを決めました。

あんみつは、二色（透明と抹茶味）の寒天を試作し、クリームソーダは、メロンシロップと炭酸飲料をどのくらいの割合で入れたら美味しくできるか味や色合いを確認しました。本番ではどれもおいしく出来上がり、とても喜んでいただけました。



おいしいスイーツに、笑顔もいっぱい

した。会話も弾み、にこやかな笑顔を拝見すると、「頑張って作ってよかったな」とこちらまで笑顔になります。

喫茶会は、年四回ですが、入居の方の楽しみの一つとして大切にしていきたいです。また、喫茶会のみならず日々の食事においても、調理員みんな協力し合いながら、「おいしいね」と笑顔で召し上がっていただけるように今後も努力していきたいです。

調理員 須田友美

豊かな生活の実現に向けて 活き方（生き方）



春の訪れに心も弾みます

突然ですが皆様はどのようなように四季の移ろいを感じとっていらっしゃいますか。例えば、満開に咲き誇る桜を見れば春を感じ、ミンミンと急かすように鳴く蝉の声を聞けば夏を感じ、ずつしりと実った稲穂の香り漂えば秋を感じ、肌を突き刺すように吹く凍てつく風に冬を感じる事が出来るのではないのでしょうか。

このように、あらゆる感覚を働かせることで我々は四季の移り変わりを知り、時の流れを実感しています。

私たちは特別養護老人ホームでは、多くのご利用者が認知症を抱えながら日々の生活に向き合われています。認知症には時間や場所、人や物等々を認識することが出来ないといった症状が上げられます。記憶力の低下は、ご利用者自身の自主性をも揺るがしかねないものと考えられます。

私たちは、ご利用者の立場に立ち高齢化への変遷と抱える認知症を踏まえた上で、明るく活き活きと役割を担い自分らしく生きる「健康寿命」について、常に検討してまいります。しかし、先にも述べたように認知症状がある故に、その実現は容易ではありません。

記憶力には「長期記憶」「短期記憶」とあり、長期記憶は短期記憶に比べ保持されているケースが多いと言われます。

それは、ご利用者の幼少期や、仕事や趣味など第一線で活躍された当時など。そのような力強く躍動されていた時代の記憶に働きかけ、当時の経験と環境を再現する事により、生活を送る上での意欲を導き出す事が出来るかと確信しています。

私たちは生活を支える介護職です。ですが、介護だけではありません。当たり前に四季の変化を感じる事が出来たあの頃。自信と意欲に満ち溢れた頃の思い出など、ご利用者にとってインパクトの強い潜在的な記憶に働きかけ呼び起こす役割も担っています。

「健康寿命を延ばす」とは、単に病气やけがをしない、させないと言うことではなく、今ある生活の中に、ご自身の



穏やかに時間を忘れ、花と語らう

存在意義としてきた生業や趣味の場を再現する事で、当時の思いに浸り、忘れていた生きがいを見出したうえで生活を送る事にあると思います。

認知症を抱えているという状態はご本人にとっては容易なことではありません、しかし我々の働き掛け次第で少しずつでも内面の変化をもたらす事が出来ます。時には間違える事もあるかもしれませんが、ご利用者の立場に立ち、一歩ずつ積み重ねていくことで、豊かな生活の実現を目指していきたいと思えます。

主任 安達広朗

新たな挑戦。クリニカルアート

いやしの館では、昨年9月、今年2月に創作活動の一環として、臨床美術士の西村亮子さんをお招きし、ご利用者にクリニカルアートに挑戦して頂きました。

クリニカルアートとは、絵やオブジェなどの作品を楽しみながら作る事によって脳を活性化させ、認知症の症状を改善するために開発されたものです。

9月は、オイルパステルを使って「にんじん」を描いて頂き、2月はちぎり絵の「大根」を製作されました。最初は、「私には出来んわ。」と一言っておられた方も、頑張っ
て取り組まれ最後には、それぞれ皆様の感性豊かな作品が出来上がりとても嬉しそうでした。



会話も弾んで楽しいひととき



出来あがった作品

完成した作品はどれもすばらしく感動しました。

4月には、県民会館にてご利用者様の作品が、展示される事となり当施設からも作品を鑑賞しに出掛けられ、ご自分の作品を見つけれ喜んでおられました。

今後、ご利用者様に喜んで頂ける活動を取り入れていきたいと思っています。

きらめきの素敵なテーブル

「デイサービスきらめき」では、4名ほど腰掛けられる長方形のテーブルを、幾つか引っ付けてレクリエーション、お食事、お茶などを一緒にいただいています。

レクリエーションの時間では、利用者さま同士声掛け合い、「あなたもどうぞ」「あの方がまだだわ」と利用者さま同士での気配りされる会話が楽しそうに聞こえてきます。

お茶の時間はいつも賑やかにになります。誰も一人



皆さん!お待ちしております

ぼっちはいません。とにかく賑やか過ぎるほど会話が広がっています。新規者、お試し利用者、見学者が来られた時にもテーブルに着き参加されると、緊張されていた顔が和らぎ、笑顔も会話も広がって行くのがよく分かります。

このテーブルに職員も一緒に居るので「ここは私たちと職員さんの距離が近くて良いね」とか「ここに来るとホッとしますよ」などの声を多く頂いています。

田舎の縁側で話をしていくかのような、

このテーブルは、とても開放的で、誰もが誰とでも思いを受け止められて、安心できるそんな居場所を作ってくれています。

日々の生活を大切に

明るい陽の光に満ちた庭、黒光りした大黒柱、遠くから聞こえる子供たちの声、等々。住み慣れたご自宅での生活の息吹をいつまでも感じながら過して頂くことが、私達「ねぎらい」ヘルパー一同の願いです。

現在、ねぎらいをご利用の皆様の約半数が一人でお住まいです。お歳を召すにつれ、日常生活の様々な場



ほら!キレイな花が咲いていますよ!

面で、生活のしづらさを感じておられます。しかし、悩みは山ほどあるものの、やっぱり家が一番だと皆様おっしゃいます。

様々な工夫を行い、厳しい環境を乗り越えていく利用者様を見ていると、私達ヘルパーも美味しいお料理を作ろうと精を出したり、晴れやかな気持ちになって

欲しいと笑顔が心がけたりと、自然に学ばせて頂いています。「この方にとっての幸せは何だろうか?」いつもこの言葉を問いかけて、受け取り、業務に励んでいます。利用者様一人では難しいこともご家族や支援者一同と十字に組んで乗り越えて頂きたいと思えます。

初めての訪問看護

今年度四月より、訪問看護師として働かせてもらっている伊野です。

これまで神戸の病院で九年間働いていました。急性期病棟だったこともあり、どうしても業務に追われ一人一人の患者様とゆっくり関わる事ができませんでした。退職を機に以前より興味があった訪問看護の職に就かせてもらいました。



お身体の調子はどうですか？



現在働き出して一ヶ月程経ちました。最初は緊張しあまり上手く話ができませんでした。最初は緊張し、利用者の方から優しく声をかけて下さったりして、今では楽しくお話をさせてもらいながらケアをさせて頂いています。

ゆっくりとお話を聞き、問題があれば本人や家族と一緒に考え対処したりと、本人や家族の思いに寄り添いながら看護できることが楽しいです。これから学ぶことも多く、困難なことがあると思いますが、スタッフや利用者様方に支えてもらいながら頑張っていきたいと思えます。

伊野 奈美枝

意欲を高めることの大切さ

デイサービスを紹介する時、「人付き合いは苦手」「この年になって出掛けなくても」と殆どの方は躊躇されます。私が出会ったお二人もそうでした。

一人暮らしのAさんは、愛犬を亡くした事をきっかけにふさぎ込み、日常生活全てに意欲をなくし寝たり起きたりの生活でした。心配する家族の勧めでデイサービスを利用。

始めは乗り気ではなかったのですが社交的な性格も手伝っておしゃべりを満喫されています。「いろんな方の考えを聞く事でこの年でも勉強になります」と、今ではまるで別人のように生き生きとした表情を見せて下さいます。

耳の聞こえが悪く、煩わしさから他人とのかかわりを自ら絶ってきたBさんは「自分が外へ出掛ける事で

家族が楽になるなら」と殆ど義務感でデイサービスへ行っておられました。何時からかその固い表情も薄れ変化のある生活を楽しまれています。

共通するのは他者との交流が適度な刺激となり、生活に活力を与えている事です。人とかかわりも上手いかなければストレスになりますので、そこを上手く支援していくことが私達の役割だと感じています。



ぼくたちのあそび場

「古代出雲の史跡や自然と触れ合っつて」

新しい地に移転して二年目。

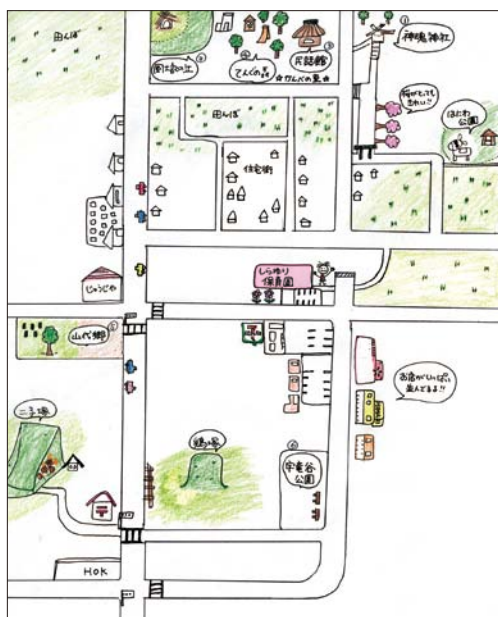
保育園のある地域には古代出雲の史跡やたくさんの自然があり、今年度は地域のいろいろな所を知ったり、地域の方との交流に広がりを持てるよう園外に出かける機会を多く持つようにしています。

子どもたちと出かける前には、まず保育者自身が実際にコースを歩いてみて地域について学び、子どもたちに伝えたい場所や感動体験のできる場所を見つけるようにしてい

ます。

桜の季節には園から歩いて十五分のところにある、現存する最古の大社造として国宝に指定されている「神魂神社①」に散歩にいきました。道中出会った地域の方に「おはようございます」と大きな声で挨拶をする子どもたち。「どこの保育園さんですか?」と声をかけてもらい「しらゆり保育園です」と元気いっぱい答えていました。散歩を通して地域の方とのふれあいも深まっています。

神魂神社の近くには「風土記の丘②」があり、お弁当を持って出かけて散策を楽しんだり、古代家屋に入ったりして楽しんでいます。また、



風土記の丘に隣接する「出雲かんべの里③」には民話館があり、昔話を聞かせてもらったり、昔ながらの自転車の紙芝居を見させてもらったりしました。さらに「てんぐの森④」では、普段経験できない自然体験を楽しんでいます。てんぐの森を流れる小川の飛び石を渡ったり、サワガニを捕まえたり、枝を拾って「魚釣りしてるよ」と言ったりして嬉しそうな子どもたちです。

また、保育園のすぐ近くには「山代郷正倉跡⑤」があり、昔税として納められていた米を置いた倉庫の跡ということです。そこは何もない広い草原で、子どもたちは追いかけてっこをしたり、置石の上にながったり、しろつめ草を摘んで首飾りを作ったりしてあ



小川で飛び石したよ



「はにわ」に花飾りをつけてあげました



広大な二子塚で思いっきり走りまわって遊びました

そんでいます。新しいパイパス沿いに整備された「宇竜谷公園⑥」には近くに高齢者の方のディーサーブスもあり、おじいさんおばあさんに手を振ったり、挨拶を交わしたりしてお互い笑顔になれるとても良い時間を過ごしています。これからも子どもたちの健全やかな成長を願い、いろいろな所に出かけて地域の方々と触れ合ったり、自然の中での豊かな直接体験の機会をどんどん取り入れ、たくましい「しらゆりっ子」の育成をめざしていきたいと思っています。

エルダー制度を取り入れて

「新入職員が一日も早く職場に慣れてくれることを願って…」

今年度、しらゆり第2保育園では新入職員が一日も早く職場になれることができるよう、職場内で新入職員をサポートする取り組み「エルダー制度」を導入しています。

エルダー制度とは、新入職員に先輩職員（エルダー）が1対1で寄り添い、新入職員が少しでも不安を軽減して仕事が出来るように仕事や人間関係の悩みなどを気軽に相談できる、精神的サポートを重点に置いた取り組みです。特に今年度は新入職員が1名の配属だったため、本人にとっては余計に心細いスタートとなっているかもしれません。

【取り組みの流れ】

①園長が年度当初職員会で、エルダー制度を取り入れる重要性や担当職員の紹介をし、共通の意識や理解の下、エルダー担当者がその職務を行いやすいように

員全体に話をしました。

②4月20日(木)にエルダーに指名された職員と園長がエルダー育成研修を受けました。

③定期的な相談の時間を作り出します。（あらかじめ園として日程を決め、新任職員や担当が話し合いに出やすいようにします）

お昼寝の時間を利用して、新入職員とエルダーと補佐の職員3人でお茶を飲みながら何気ない話をしていきます。

(ア)エルダー担当者は受容と傾聴の姿勢で

(イ)今年度新入職員は女性。エルダーが男性なので、女性の補佐を入れることで女性ならではの悩みを



お昼寝の時間に休憩を兼ねてスイーツを食べながら、和やかな雰囲気ですわいも話します

補佐しています。

④巡回相談

エルダーの活動を側面的に支援するために、経験豊富な相談支援の専門職の方をエルダー育成支援員として保育園に派遣してもらいました。エルダー・園長と面談し、助言などをもらいました。

「エルダー制度を取り入れて」今どのように思っているか？

○エルダー担当

今回エルダーをするにあたり、自分の1年目の時のことを思い出しました。同期はいましたが、男性が1人、心細かった事を覚えています。僕には親身になって話を聞いてくれたり、他愛もない話でなごませてくれたり、不安な新人時代に心の支えとなる先輩がいました。自分もそんな存在になれるようにと思っています。園全体がこの取り組みを理解し、支えてもらっているおかげで今安心して働いています。この取り組みで新入職員が、安心して働ける

ように願っています。

○新入職員

今年度は新入職員が私1人で、多くの不安がある中でエルダーをつけていただき、これから何か悩んだ時に、すぐ近くに相談できる相手がいることはとても心強いと思っています。



夏祭りのステージでは、先輩に混じって子ども達と一緒にダンスを踊りました

エルダー制度を取り入れることで、新入職員が職場の人間関係や業務全般等により主体的に向き合い、自分自身の個性を発揮しながら少しずつしらゆり会の職員として成長してくれることを願っています。又、その事が子ども達や保護者へのより良い関わりや支援につながっていくよう、今後も園内全体で取り組みを進めていけたらと思っています。

地域のさまざまな力に感謝して

「あなたの保育園のファンは誰ですか？」と、ある研修の中で講師の方から聞かれました。子供、保護者、私たち職員は勿論、私は「地域の皆さん」が頭に浮かびました。

保育園から300メートル南に位置する南消防署。「いつでも消防車を見せてあげるからおいで」と声をかけて頂き、天気の良い日には2歳児も散歩に出掛けます。「よく来たね。待っていたよ」と、優しく迎え、救急車や消防車の説明をしながら、子供たちを運転席に乗せて下さいます。



「消防自動車に乗せてあげるよ。乗ってみたい人！」いつも優しく、サービス満点の消防士さんたちです

時には、訓練の様子を見せてくださいることもあります。職員にも、「いつも近くにありますからね」と、心強い声をかけていただいています。

畑の肥料作りから野菜の苗植え、野菜作りに力と知恵を貸して下さる、アースサポートの皆さん。積極的に環境教育に出掛けてくださいます。

年長児に、野菜の切れ端を使って環境に優しい液体肥料作りを教えてください、その肥料を使って土壌を作り、野菜の苗植えのお手伝いをしてください。また、ご近所の方も、保育園の畑を気にかかけ、時折立ち寄って、野菜作りのアドバイスをして下さいます。

柏餅作りに来てくださる、矢田地区寿会の皆さん。子供たちは、



手取り、優しく丁寧に指導をさせていただきます

まるで家庭にいるような感覚で寿会の皆さんに甘え、所作を間近に見て真似て、柏餅作りを体験します。温かく、穏やかな優しいさに包まれます。

矢田地区交通防犯対策協議会の皆さん。真剣に、時には厳しく、横断歩道の渡り方など子供たちの安全を切に願ひ、実践を通して交通ルールを教えてください、さったり、危険な人や物からの身の守り方を教えてください、さったりします。



実際の横断歩道での練習。しっかりと見て安全確認をしてから手を上げて渡ります

寿会・交通防犯対策協議会の皆さんは、お餅つきにもお手伝いに来て下さいます。このお餅つきには、津田交番のお巡りさん、現任・歴代の保護者会長の方々も数人参加して下さいます。立場や世代を超え、人生の先輩から、もち米の蒸し加減、餅の手返しやつき方を指導して頂くこともあります。

す。それは、保育園が古き良き日本の伝統行事を通し、地域のコミュニティの場であることを感じる一場面です。

そして、矢田地区・泉の園・しらゆり第3保育園合同夏祭り。保育園は、地域のまつりに合同で参加させていただいています。年長児と職員が一緒に披露するしらゆり太鼓は、地域の夏祭りの名物となり、子供や保護者の笑顔が、地域の祭りを盛り上げる大切な役割を担っていると思います。



矢田地区・泉の園・しらゆり第3保育園合同夏祭り～オープニングの和太鼓は迫力満点です！～

このように、しらゆり第3保育園は、沢山の「地域力」に支えて頂いています。子供たちと一緒に感謝の気持ちを伝え、地域から愛され続ける保育園であると共に、地域を活性化させる原動力となるように努力していきたいと思ひます。

保護者との連携から

～初めての保育園給食を知っていただく中で～

今年度四月、ちごゆり組は八名の0歳児さんが入園されました。初めて保護者と長い時間離れての生活、また慣れない環境の中での生活に涙が出る子どもたくさんいます。

子ども同様に不安なのは保護者の方も一緒です。手探り状態で育児をしておられる保



座って食べている姿に感動。食事を美味しく食べている姿に笑顔がこぼれるお母さん



「これからは座って食べるよ」とお母さんに見せながら「給食の味見もしてみようね」とお母さんに見せながら「給食の味見もしてみようね」とお母さんに見せながら

護者の方にもむけて、保育士としての専門性を活かして子育て支援が出来ないかと考えました。

そこで、今年度新しい取り組みとして、新入園児の保護者の方を対象に、給食の時間に来ていただく機会を作ることにしました。お子さんに給

食を食べさせてもらう中で、お子さんの食事の様子や保育園の給食を知ってもらう良い機会になればという思いからでした。

子どもたちは、お母さんに食べさせてもらうことで安心して食事が出来、お腹が満たされることで保育園が安心できる場所の一つになっているように感じました。

保護者の方にとっては、食材の形態や分量、味付けなど参考になるとの声を頂きました。また、食事を食べさせながら育児についての悩みや困っていることなどを聞く良い機会になったように思います。

中でも一番多く聞かれたのが「座って食事ができない」との声でした。食事の時間に来られた保護者の方が、少しずつ椅子に座って食べられるようになる我が子を見て感動しておられました。

子どもたちは、「もぐもぐおいしいね」「かみかみ、ごっくん。じょうずだね」「んんんさんだよ。おいしいね」



保育園にも慣れてパクパク食べられるようになりました

など、お母さん（保育士）からの優しい声かけ、温かい眼差しから、「愛されている実感」を感じていくと思います。このような子どもの育ちが土台となり、成長するにつれ、何でも自分でやってみようとする意欲が持てるようになるのだと思います。

また、このことをきっかけとして、保護者の方と話しやすい関係ができたように思います。

これからも、保護者が安心してお子さんを預けられる保育園でありたいと思います。

国内施設 視察研修旅行記

障がい者支援施設 光洋の里
 障がい者支援施設 光洋の里
 特別養護老人ホーム 詔光の里
 訪問看護ステーション 暖心

濱田 直志
 大塚 悦子
 森本 千恵
 津田 恵子



障がい者支援施設 光洋の里

濱田 直志

最先端の介護設備に これからの介護施設の姿を

社会福祉法人大阪自彊館の障害者支援施設「いまみや」へ施設見学を行いました。

場所は「あいりん地区」「飛田新地」に挟まれ、屋上からは通天閣、アベノハルカスを一望出来る箇所です。近くには、100年以上の歴史を持つ介護施設である母体があります。

「いまみや」は、平成28年3月に移転された施設で「光洋の里」の約半分の規模。

全館オール電化で証明はLEDを使用し、完全個室で各居室の電力は一括管理出来、電力コストの軽減になっています。停電時は緊急を要するものに限る

のですが、数十分は自家発電で対応可能としています。

また、居室5部屋と浴室に天
上リフターが設置してあり、移動式リフターとは使用感が別格とのこと。併わせて、各職員にPHSが配られ、コール対応のほか、個々の連絡が円滑に行え、介護事業の最先端設備が整っています。

築30年を超える施設で勤務する私には憧憬の設備ですが、可能な「最先端」に向かって邁進し、介護の道に精進したいと思
います。

地域との関わりを大切に する施設

障がい者支援施設 光洋の里

大塚 悦子

兵庫県神戸市にある障害者支援施設「神戸愛生園」に視察研修させていただきました。北須磨ニュータウンに位置し、近隣には学校やスーパー等があり、街並みはきれいで過ごしやすい所でした。

規模は「光洋の里」と同等の施設で、開所より35年目という事もあり、居室や浴室など古い所もありましたが、食堂は天井高く大きな窓から自然光が入る開放的な空間でした。

4～5年

天井走行リフター



前から「ノーリフト」を推進され、天井走行式リフトが設置されてい
ました。今後は全居室に天井走行式リフトを設置して利用者の方と職員の負担軽減に取り組んでいくとのことでした。

取り組みの中で、地域との関わりを大切にされており、平成7年に発生した地震災害後より、更に近隣の自治会との連携が強くなったとのことでした。利用者の方への支援は、穏やかな雰囲気で行われていたのが印象に残りました。

今回の視察研修で学んだことを今後の支援に活かせるよう、自分自身の資質向上に努めていきたいと思
います。



施設外観

多邦会特別養護老人ホーム 「ひばり苑」を訪ねて

永年勤続10年を迎え、暑い陽射しが降り注ぐ8月半ば特別研修視察で大阪府高槻市内にある社会福祉法人多邦会特別養護老人ホームひばり苑へ行かせて頂きました。

ひばり苑は、平成16年4月に開設された施設で、入所90名、短期入所10名の全て個室となったグループケアユニット地域密着型施設となっています。

職員一人一人の活気ある挨拶、広々とした明るい廊下に広いフロア、畳みで寛げる空間もあり、家庭的で和やかな雰囲気を感じられます。

「ケアは考える事から始まる」をモットーに、他職種間での情報共有・カンファレンスを繰り返し、利用者様の残存機能を活かした支援をされているのが印象的でした。

利用者様の重度化や職員不足の厳しい介護の現実の中、各フロアには認知症介護実践研修や



施設の外觀

指導者研修を終えた職員が配置されており、介護体制は充実していました。

今回の視察研修では、「詔光の里」では気付くことの出来ない視点に気付かされ、沢山の学びを得ることが出来ました。この学びを今後看護師として働く際に活かしていきたいと思えます。

このような研修の機会を頂きありがとうございます。

此花保健福祉センターを視察して

秋日和の11月初め、大阪市此花区保健福祉センター精神保健業務を視察しました。西部は臨海工業地帯として発展、東部は古くからの住宅地があり、平成13年にはユニバーサルスタジオジャパンがオープンし国内外からの来訪者で賑わっている地域です。

センターでは府、市と連携をとり精神に障害がある方



施設の外觀

センターでは府、市と連携をとり精神に障害がある方

を対象にした「日常生活向上教室」「生活技能訓練教室」の開催や電話相談、また近年はうつ病の方が多く、予防、うつ病の方との接し方等の講座を開催しています。

一人の対象者と深く関わる訪問看護は地域で暮らすための伴走者であり、多くの関連機関の橋渡しの役目も担うことが期待されていますと感じました。今回の視察で学んだことを今後の看護に活かし努力していきたいと思えます。



パンフレットを使って



まほうの看護はいかが？

社会福祉法人 しらゆり会

第一種事業

第二種事業

公益事業

(注)各施設の記載順は社会福祉法に定める事業の順とした

統括事務局 松江市山代町 934-5 TEL.0852-21-0789 FAX.0852-27-6985

社会福祉法第2条 第2項

第1号	生活保護法に規定する救護施設	救護施設 泉の園 松江市矢田町 472 TEL.0852-24-3512 FAX.0852-27-6987
第3号	老人福祉法に規定する特老、軽費老人ホーム	特別養護老人ホーム 詔光の里 松江市山代町 934-5 TEL.0852-31-4165 FAX.0852-27-6982
		特別養護老人ホーム いやしの館 松江市西川津町 733-1 TEL.0852-27-0081 FAX.0852-27-0071
		軽費老人ホーム ケアハウス 夢楽の郷 松江市山代町 933-9 TEL.0852-31-9036 FAX.0852-31-9038
第4号	障害者総合支援法に規定する障害者支援施設	障がい者支援施設 希望の園 松江市山代町 934-10 TEL.0852-21-0791 FAX.0852-21-2829
		障がい者支援施設 光洋の里 境港市渡町 2480 TEL.0859-45-5400 FAX.0859-45-5411

社会福祉法第2条 第3項

第2号	児童福祉法に規定する保育所	児童福祉施設 しらゆり保育園 松江市大庭町 135-1 TEL.0852-22-3803 FAX.0852-60-7132
		児童福祉施設 しらゆり第2保育園 松江市西持田町 336-5 TEL.0852-23-3340 FAX.0852-60-7131
		児童福祉施設 しらゆり第3保育園 松江市矢田町 484-6 TEL.0852-26-2356 FAX.0852-60-7130
		児童福祉施設 しらゆり千鳥保育園 松江市北田町 188-3 TEL.0852-21-3440 FAX.0852-60-7135
		老人・障がい者ホームヘルプサービス事業 ねざらい 松江市山代町 934-5 TEL.0852-31-3328 FAX.0852-27-6982
第4号	老人福祉法に規定する事業	老人デイサービス事業 きらめき 松江市山代町 934-5 TEL.0852-31-3370 FAX.0852-27-6982
		就労継続支援A型事業 ワークセンター島根 松江市矢田町 250-110 TEL.0852-22-4105 FAX.0852-31-1167
第4の2号	障害者総合支援法に規定する障害福祉サービス事業	生活介護事業 さざなみ 境港市渡町 2480 TEL.0859-45-5407 FAX.0859-45-1107
		共同生活援助事業 互助の館 松江市東津田町 1324-1 TEL.0852-67-3500 FAX.0852-67-3500 松江市矢田町 484-6 TEL.0852-31-8313 FAX.0852-31-8313
		相談支援事業所 ねくすと 松江市山代町 934-10 TEL.0852-21-5080 FAX.0852-21-2829

社会福祉法第26条 第1項

施行令第4条	介護保険法に規定する居宅介護支援事業 他	居宅介護支援事業所 ナイス 松江市山代町 934-5 TEL.0852-31-3288 FAX.0852-27-6982
		訪問看護ステーション 暖心 松江市山代町 934-5 TEL.0852-28-0906 FAX.0852-27-6982

しらゆり会では、日頃の活動報告や活動予定をホームページにて紹介しています。
下記のホームページアドレスからアクセスしてください。

時代のニーズに応える、新しい社会福祉づくりに取り組んでいます。

<http://www.sirayurikai.or.jp/>



写真 ご家族との時間

日々の支援に携わらせて頂く中で、思い描くのは笑顔の絶えない、活力ある生活を送られるご利用者の姿です。その為に大きな役割となって頂いているのがご家族であると考えています。この写真は、面会時に散歩をするご家族とご利用者を捉えたものです。

傍らに寄り添うご家族の笑顔につられるように、微笑み返す表情がとても印象的なものとなっています。澄み渡る青空のもと、照りつける太陽よりも輝いていたのは、お二人の絆によって生み出された笑顔でした。

編集後記

空梅雨から一転し、記録的な豪雨のため、島根県西部や、特に九州北部は大きな被害に見舞われました。被災された方々には謹んでお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復旧を心より祈っています。

災害は常に不意を突いて襲ってきます。私たちが、いつ身近に大災害が起きてもおかしくないことを戒め、日々防災意識を高めていきたいと思います。

末筆になりましたが、発刊に際しまして、お忙しい中ご寄稿いただきました皆様には心よりお礼を申し上げます。

しらゆり



しらゆり【第33号】平成29年8月発行

- 発行人/理事長 国頭正治
- 発行/社会福祉法人しらゆり会
- 編集制作/株式会社計画設計工房

※掲載の文章、写真などを無断転用・引用することを禁じます。
また、掲載の氏名、写真は承諾を得て掲載しています。